10 バックビューモニター★

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

バックビューモニターをご使用の前に

ご使用上の注意

警告

バックビューモニターは、障害物などの確認を補助するためのシステムです。絶対にカメラモニター画面の映像だけを見ながらの車両操作はしないでください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。車両の操作をするときは、周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

注意

- 画面に表示される目安ライン、予想進路線の位置などはあくまでも目安です。また、車両の乗車人数や燃料の残量、車両姿勢などによって目安ライン、予想進路線の位置がずれます。実際のまわりの状況を直接目で確認してご使用ください。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 高圧洗車による強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

モニター画面の調整について

バックビューモニターの画質を調整することができます。

画面の調整をする・・・p.8-5

バックビューモニターを使う

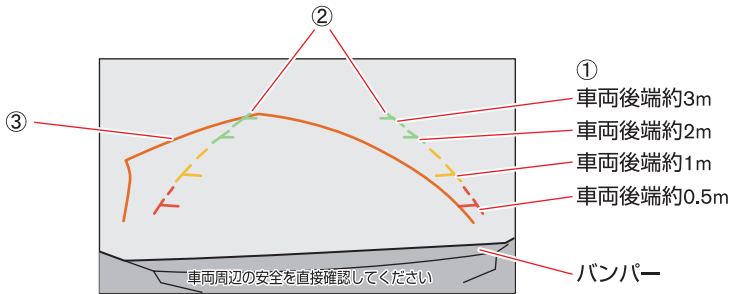
バックビューモニターは、電源ポジションがONのときにシフトレバーをRに入れると作動します。
車の後方の状況を確認して後退させることができます。

⚠ 警告

● バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方及び周囲の安全を確認しながら運転してください。

⚠ 注意

● バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。

表示線の見方

① **距離目安ライン**
車両後方の距離の目安を示します。

② **車幅目安ライン**
後退したときの車幅の目安を示します。

③ **予想進路線**
そのまま後退したときの予想進路の目安を示します。予想進路線はハンドルを切った角度に合わせて動き、ハンドルが中立状態になると消えます。

⚠ 注意

● バッテリーを外すと実際の予想進路線と異なる軌跡を表示する場合があります。その場合は、カーブなどが少ない道を5分以上走行してください。

知識

● バックビューモニターカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため表示線は多少右にずれて見えます。

★:車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎:ディーラーオプションです。

予想進路線の表示をON/OFF にする

1

2 その他設定

3 カメラ

4 予想進路線表示

ONが点灯し、設定されます。

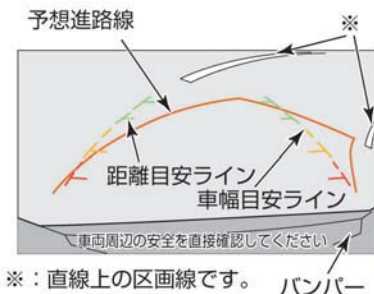
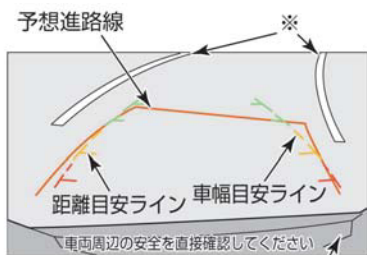
ON(点灯)	予想進路線が表示されます。
ON(消灯)	予想進路線が表示されません。

知識

- バックビューモニター表示中にSETTINGを押して、詳細設定を選んでも同様に設定できます。

バックビューモニターを使って駐車する

1. シフトレバーをRにします。

2. 予想進路線が駐車スペースに入るようにハンドルを操作しながら、ゆっくりと後退します。

3. 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅目安ラインと駐車スペースの左右の区画線が平行になるようにハンドルを操作します。

4. 車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、ゆっくりと後退します。

知識

- 画面では車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行に見えても、実際には平行ではない場合があります。
- 前記と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドルの操作も左右逆になります。
- バックビューモニター使用時でもオーディオ、テレビ、ハンズフリーフォンの一部の機能は操作することができます。

バックビューモニターについて

カメラレンズはナンバープレート上部にあります。

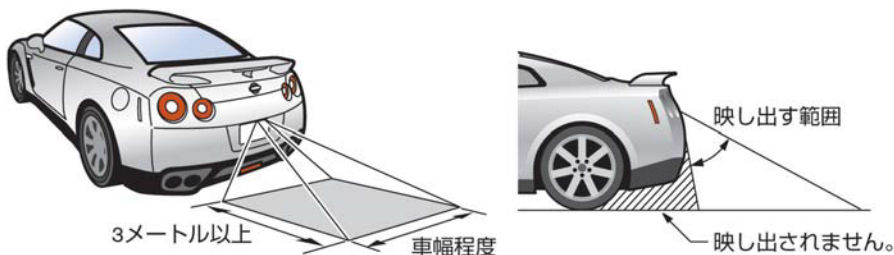
バックビューモニターの注意点

安全に運転をしていただくために、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 注意

- 絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないでください。映像と実際の状況は異なることがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。
- バックビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。
- 画面に表示される距離目安ライン、車幅目安ライン、予想進路線はあくまでも目安です。また、車両の乗車人数や燃料の残量、車両姿勢などによって距離目安ライン、車幅目安ライン、予想進路線の位置がずれます。実際のまわりの状況を直接目で確認してご使用ください。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 高圧洗車による強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

映し出す範囲

バンパー後端から車の後方を映します。

アドバイス

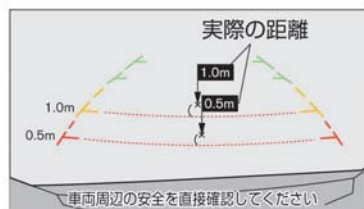
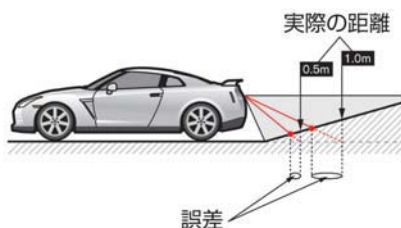
- 車や路面の状況により、映る範囲が異なることがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、バックビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、バックビューモニターの映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

映像と実際の路面との誤差について

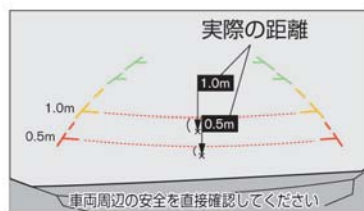
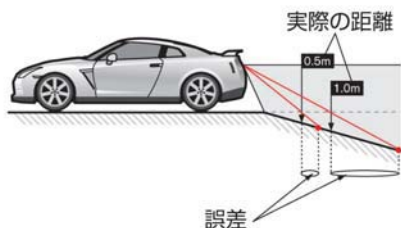
次のような場合には、画面の映像と実際の路面状況（距離や進路など）に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき

後方に上り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。

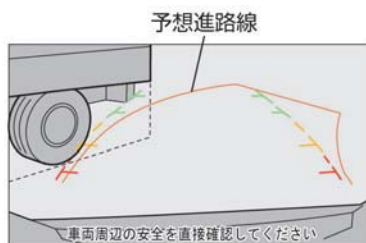
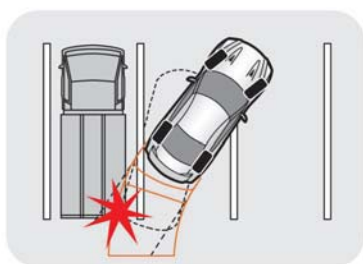
・　上り坂に障害物がある場合には、障害物が実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき

後方に下り坂がある場合、距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。

・　下り坂に障害物がある場合には、障害物が実際よりも近くにあるように感じます。

立体物が近くにあるとき

距離目安ライン、車幅目安ラインは平面物（道路など）を対象にしています。そのため、張り出し部分のある立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。

例1

予想進路線はトラックの車体に触れていないため、ぶつからないように見えます。しかし、実際は車体が進路上に張り出しているため、ぶつかることがあります。

例2

Cの位置はBの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はAの位置と同じ距離です。Aの距離まで下がるとぶつかることがあります。